



あきほ

A K I H O



特集

撮影のため、マスクを外しています。

より質の高い
リハビリテーション医療をめざして
～日本海酒田リハビリテーション病院～

より質の高いリハビリテーション医療をめざして

日本海酒田リハビリテーション病院

日本海酒田リハビリテーション病院は令和3年4月に回復期リハビリテーション病棟79床のうち44床について、回復期リハビリテーション病棟入院料3から、庄内では2施設目となる入院料1（体制強化加算1）を届出し、診療体制を強化しましたので、その内容をご紹介します。

リハビリテーション 診療体制の強化

「回復期リハビリテーション病棟」には6段階の国が定める施設基準があります。基準が高くなるほど求められる要件が厳しくなることを意味するわけですが、この施設基準のポイントは「急性期病院からできるだけ早く患者を受け入れ、確実に在宅復帰に結びつけるリハビリテーション医療を提供する」ところにあります。

当院では、これまでの理学療法士や作業療法士の病棟専従（※）に加え、新たに医師、言語聴覚士、社会福祉士を病棟専従とし、管理栄養士を病棟専任として配置し、更には看護師を3人増員（患者13人に対し看護師1人が対応）し、診療体制を強化しました。

患者さんに行えるリハビリテーション時間は1日最大3時間と定められています。休日も含め365日途切れることなく、また、訓

患者さん中心の

チーム医療

練習時間中のみならず起床時から就寝時までの時間全てをリハビリテーションと捉え、密度の高い集中的なリハビリテーションを提供しています。（※病棟専従…その病棟のみ担当）

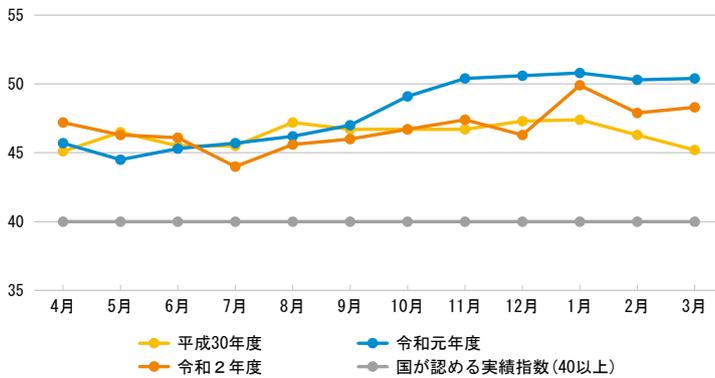
各専門分野のスタッフがチームとしてカンファレンス（患者さんの状態を確認する会議）を定期的に行い、画一的なプランを押し付けることなく、退院に向けて様々な角度から患者さんに必要な支援を検討し、リハビリテーション計画を立案・実施しています。また、患者さん1人1人が個別の事情をお持ちであることを踏まえ、入院検討段階から在宅復帰・社会復帰を実現できるよう、入退院調整の担当看護師や社会福祉士が各種手続きや情報提供等のサポートを行い、安心して入院生活を過ごしていただけるよう努めています。





ケースカンファレンスの様子

実績指数



令和2年度 回復期リハビリテーション病棟診療実績

- 新入院数 356人
- 平均在院日数 67.3日
- 病床稼働率 83.4%
- 在宅復帰率 92.7%
- 入院疾患別割合 脳血管系 51%、整形外科系 45%、
廃用症候群 1%、非該当 3%

| 厚生労働省が定める回復期リハビリテーション病棟入院対象患者 | 入院上限日数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態 | 150日 |
| 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷 | 180日 |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態 | 90日 |
| 外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態 | 90日 |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態 | 60日 |
| 股関節または膝関節の置換術後の状態 | 90日 |



「リハビリに強い」がわかる実績指数

「実績指数」はリハビリの効果を見える化した指標の1つです。国が定める令和2年度診療報酬改定では、この実績指数が40以上あると、「質の高いリハビリテーションを提供する病院」として認めると定義され、入院料1の要件にもなりました。

実績指数は、
1 入院してから退院するまでに運動機能がどれだけよくなったか？

運動機能の改善度が大きいほど、更には入院している期間が短いほど数値は高くなります。よって、この数値が高い病院ほど、「より短期間でより効果の高いリハビリテーションを提供する病院」とあると言えます。

当院の実績指数は、44から50の間で推移し、高い数値を安定して算出しています。今後もより質の高いリハビリテーション医療の提供に努めていきます。

2 どれだけ早く退院できたか？
 で計算します。

《運動機能が良くなった点数÷入院日数》

特定行為について

後編



当院には「特定行為」ができる看護師がいます！

「特定行為」って

何ですか？

特定行為とは高度で専門的な知識・技能を特定行為研修で身につけた看護師が**医師による手順書を元に行う「診療の補助」**のことです。全部で38の特定行為に分かれています。38の特定行為は21の特定行為区分に分けられ、どの区分の特定行為研修を履修したかによって対応できる特定行為が異なります。

研修受講後は手順書にもとづき患者さんの状況に応じてタイムリーに処置や治療などを行うことができます。前号では、「特定行為実施の流れ」を、本号では「特定行為研修を修了した当院の看護師の紹介」をご紹介します。



特定行為研修 修了者のご紹介

研修 修了の分野

研修を修了したことで行える業務・得たこと

今後について

感染管理認定看護師

佐藤 幸子

研修修了 4区分

【栄養に係るカテーテル管理

(中心静脈カテーテル管理)関連]

- 中心静脈カテーテルの抜去

【栄養に係るカテーテル管理

(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連]

- 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入

【感染に係る薬剤投与関連]

- 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与

【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連]

- 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- 脱水症状に対する輸液による補正

私は、2019年3月自治医科大学看護師特定行為研修センターにて研修を修了しました。医師の協力を得て、特定行為を実施し、患者さんからの質問に回答することで安心に繋がっていると感じるがありました。

今後も患者さんが安心・安全な療養生活を送れるよう、丁寧な説明と実践を心掛けて活動していきたいと思えます。





救急看護認定看護師として10年間経験を積み、救急看護を専門分野として活動してきました。

夜間の救急には、気管カニューレ、胃ろう、腸ろう、膀胱ろうのトラブルで受診される患者さんがいます。

特定行為の手技を取得したことで、タイムリーに患者さんの問題に対応することができます。

今後は、在宅医療の現場でも活用できるようさらに自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

救急看護認定看護師

時 松 緑

研修修了 3 区分

【呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連】

- 気管カニューレの交換

【ろう孔管理関連】

- 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
- 膀胱ろうカテーテルの交換

【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連】

- 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- 脱水症状に対する輸液による補正

皮膚・排泄ケア認定看護師

小 向 里江子

研修修了 3 区分

【創傷管理関連】

- 褥瘡(じょくそう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- 創傷に対する陰圧閉鎖療法

【創部ドレーン管理関連】

- 創部ドレーンの抜去

【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連】

- 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- 脱水症状に対する輸液による補正

創傷関連の特定行為ができるようになり、迅速かつ適切なタイミングで創傷ケアができるようになりました。患者さんの早期回復に繋がっていると感じています。

栄養や水分管理に関しても、患者さんの状態を24時間看ている中で、輸液量や栄養剤の過不足について医師へ相談し、患者さんのより良い状態と一緒に考えることができています。

将来的には、患者さんやご家族の通院負担を減らせるように、在宅での褥瘡(床ずれ)ケアのための同行訪問(地域の訪問看護師と一緒にケアや処置を行う)ができるようにしていきたいと思っています。



私は手術室に所属し認定看護師としても活動しながら特定行為を実施しています。各科の医師と協力しながら、患者さんが安全に手術を受ける

ことができるように入院前の段階から手術でのリスクチェックを行い、全身麻酔・局所麻酔中は全身管理のサポート、手術後は痛みの管理などにかかわっています。これからも安心して手術を受けることができるような環境を整えていきたいと考えています。

手術看護認定看護師

成 澤 由 香

特定看護師

富 樫 千 佳

佐 藤 春 香

研修修了 6 区分

【呼吸器(気道確保に係るもの)関連】

- 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整

【呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連】

- 侵襲的陽圧換気の設定の変更
- 人工呼吸器からの離脱

【動脈血液ガス分析関連】

- 直接動脈穿刺法による採血
- 橈骨動脈ラインの確保

【術後疼痛管理関連】

- 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

【循環動態に係る薬剤投与関連】

- 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連】

- 脱水症状に対する輸液による補正

日本海酒田リハビリテーション病院

リハビリテーション科 B2病棟

診療部長
(兼)リハビリテーション科部長
尾山 かおり

日本海酒田リハビリテーション病院は、千石町の旧酒田市立病院跡地にある総病床数114床の、機構内の連携病院です。B2病棟は、運動器疾患（大腿骨近位部骨折をはじめとした骨折・脊椎疾患・人工関節などの手術後）と脳血管疾患（脳梗塞・脳出血など）で、急性期の病状が安定した患者さんの回復期リハビリを担う44床（4人部屋9室、個室8室）の病棟です。医師・看護師・薬剤師・



リハビリ療法士・管理栄養士・医療相談員・介護士などの各専門職が連携して、リハビリと入院生活全般のサポートをさせていただいています。リハビリ時間は、1日計2〜3時間（休日は1〜2時間）で、患者さんごとに病状や体調に合わせた短期・長期目標を立て、実際の回復状況に合わせて目標を修正しながら、家庭生活や社会生活への復帰をめざします。病棟生活でも、起床〜就寝までの「生活動作全てがリハビリ」との理念に基づき、できることを増やしていくための介助・看護の提供を心がけています。また、回復期リハビリを進める中で、基礎的な筋力や体力の向上・栄養状態の改善も、たいへん重要なポイントとなるので、栄養サポートチームによる専門的な介入も行っています。

近年、独居高齢者・老老介護世帯の増加、また認知症の増加など、いづれも回復期リハビリ後に家庭生活復帰をめざす上でのハードルが上

がっつしてしまう事情を抱えた方は増えています。ご自宅内の環境整備やご家族への介護指導、介護保険による社会資源活用のための道筋作りなども、回復期リハビリ期間中に並行して準備すべき要件となっています。

今年4月からは、特集記事のとおり施設基準回復期リハ入院料1該当となり、より充実した入院リハビリ生活を送っていただくための体制を整えています。さらに、急性期病院から早期に転院していただけるような「転院時連携の強化」、在宅生活復帰に向けかかりつけ医での加療再開や介護サービス開始に際し、より有用な情報提供ができるような「退院時連携の強化」もめざしています。

回復期リハビリ期間は、患者さんご自身にとって、とても大変で同時にとても大切な、在宅復帰に向けた準備の期間です。より効果的なりハビリと、心豊かに過ごしていただく病棟生活をめざし、今後スタフ一丸となって努めていきます。

患者さんの入院生活(例)

| | |
|-------------|---------------------------|
| 6:00 | 起床 |
| 7:30~ | 朝食(食堂で) その後着替え(病衣→私服へ) |
| 9:50~10:50 | リハビリ(理学療法) |
| 11:00頃~ | ラジオ体操(食堂で) |
| 11:50~ | 昼食(食堂で) |
| 13:30~14:00 | 入浴(介助での個浴) |
| 15:00~16:00 | リハビリ(作業療法) |
| 17:30頃~ | 着替え(私服→病衣へ) |
| 18:00~ | 夕食(食堂で)その後洗面など |
| 21:00 | 就寝 |

Aさんのある1日

85歳
大腿骨骨折術後10週



令和2年度 決算報告

令和2年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の決算がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

◆患者数の状況

(単位:人)

| | 日本海総合病院 | | | 日本海酒田リハビリテーション病院 | | | 診療所 | | |
|-----------|---------|---------|----------|------------------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比較 | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比較 | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比較 |
| 延入院患者数 | 186,991 | 169,551 | △ 17,440 | 34,696 | 33,673 | △ 1,023 | — | — | — |
| 新入院患者数 | 16,278 | 14,644 | △ 1,634 | 690 | 611 | △ 79 | — | — | — |
| 1日平均入院患者数 | 510.9 | 464.5 | △ 46.4 | 94.8 | 92.3 | △ 2.5 | — | — | — |
| 延外来患者数 | 342,371 | 309,291 | △ 33,080 | 243 | 163 | △ 80 | 21,310 | 19,901 | △ 1,409 |
| 新外来患者数 | 28,225 | 22,185 | △ 6,040 | 16 | 13 | △ 3 | 1,271 | 809 | △ 462 |
| 1日平均外来患者数 | 1,420.6 | 1,272.8 | △ 147.8 | 1.0 | 0.7 | △ 0.3 | 81.7 | 74.8 | △ 6.9 |

◆収支の状況

(単位:百万円)

総収益239億100万円に対し、総費用226億900万円で、当期純利益は12億9,100万円となり、前年度より8億5,200万円増加し、法人設立以来13期連続で黒字決算を達成しました。

収益が増加した主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により入院収益は減少しましたが、新たな施設基準の取得等により患者1人1日当たりの診療単価が増加したこと、会計処理の一部を変更したこと、新型コロナウイルス感染症に関連した各種補助金等の交付を受けたこと等が挙げられます。

費用が増加した主な要因としては、高額ながん治療薬処方が増加したこと、新型コロナウイルス感染症対策に伴い経費が増加したこと等が挙げられます。

| 区 分 | | 法人全体 | | |
|-------|---------|--------|--------|-------|
| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 増減額 |
| 総収益 | 入院収益 | 14,292 | 13,939 | △ 353 |
| | 外来収益 | 5,948 | 6,075 | 127 |
| | その他営業収益 | 1,264 | 2,475 | 1,211 |
| | 計 | 21,504 | 22,489 | 985 |
| | 営業外収益 | 1,196 | 1,398 | 202 |
| | 臨時利益 | 18 | 14 | △ 4 |
| 合計 | | 22,718 | 23,901 | 1,183 |
| 総費用 | 営業費用 | 21,038 | 21,394 | 356 |
| | 営業外費用 | 1,172 | 1,186 | 14 |
| | 臨時損失 | 69 | 30 | △ 39 |
| | 合計 | 22,279 | 22,609 | 330 |
| 当期純利益 | | 439 | 1,291 | 852 |

※区分毎に四捨五入しているため合計額が一致しない項目がある。

ホームページがリニューアルしました!

2021年9月、病院機構、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院のホームページがリニューアルしました。

デザインが一新されただけでなく、知りたい情報が見つかりやすいようページの導線を見直しました。スマホからの閲覧もしやすくなっています。

ぜひご覧ください。



<http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/>

▼各ホームページはこちらから



日本海総合病院



山形県・酒田市病院機構



日本海酒田リハビリテーション病院



令和3年度

あきほ祭り

例年、秋に開催しておりました「あきほ祭り」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と、あきほ祭りに参加される皆様の安全面を考慮し、今年度も開催を中止いたします。大変残念ではございますが、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。



— 昨年のあきほ祭りの模様



訂正とお詫び

6月発行の広報誌「あきほ」につきまして、下記ページの内容に一部誤りがございました。次のとおり訂正させていただきます。読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

p.7『特定行為について 前編』

■ は当院で実践されている
特定行為と特定行為区分

【誤】

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|--------------------|------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |
| | 人工呼吸器からの離脱 |

【正】

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|--------------------|------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |
| | 人工呼吸器からの離脱 |



医師異動

転入者 日本海総合病院
1 前任地 2 趣味・特技



循環器内科
小菅 桃
1 仙台厚生病院
2 食べること



初期研修医②
大友 諒
1 山形大学医学部附属病院
2 温泉巡り

転出者 日本海総合病院
内科 **遠藤 明志** JCHO 仙台病院

編集後記

Editorial note

今号は日本海酒田リハビリテーション病院を特集しました。掲載のとおり、診療体制を強化し、多職種チーム一丸となって早期在宅復帰に向けたリハビリテーションの提供に努めてまいります。

表紙は8月の猛暑日、気温が最高36℃まで上昇した日の午後に撮影した写真になります。撮影時間は10分くらいでしたが、参加職員は皆あつという間に汗だくになって対応しました。朝の気温が上昇する前に撮影するべきだったかなと、事務局は反省しています。

例年秋に開催している「あきほ祭り」は、昨年に続き今年も中止することにしました。来年秋こそはコロナが収束し、お祭りを楽しめる状況であってほしいと切に願うばかりです。



地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

<基本理念>

1. 安心、信頼、高度な医療提供
2. 保健、医療、福祉の地域連携
3. 地域に貢献する病院経営

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

☎ 0234-26-2001(代表)

日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで

✉ kikaku@nihonkai-hos.jp

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています!

f 臨床研修Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu

f 看護部Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kango

🐦 日本海総合病院 Twitter 公式アカウント @nihonkai_hosp